

2023年度 SDGs 年次活動報告書
(2023年2月1日～2024年1月31日)

20
SDGs

23
report

Top Message



代表取締役社長
竹村 圭祐

2023年4月から社長に就任いたしました竹村圭祐です。
2023年度は、第二の創業と位置づけ、様々な改革を進めた1年となりました。

中期事業計画では第2期にあたり、引き続き「ファッショング」、「アスレジャー」、「ライフスタイル」「サステナビリティ」に注力いたしました。私たちを取り巻く経済環境が大きく変化する中で、環境・社会問題にアパレル企業としてどう対峙していくのか、試行錯誤を重ねています。

2023年度のサステナビリティ分野においては、SDGs 基本方針(3C)に基づき、独自のサステナビリティ基準の策定、ファッショングロス対策の取り組み強化(リユース、リメイクなど)、CO₂排出量の算定、地域の技術や特産品を活かしたモノづくり、入会団体(JSFA、国連グローバルコンパクトなど)への積極的関与も行いました。

こうした取り組みをこれからもっと多く実現を目指します。

そして、サステナビリティとファッショングが融合することで生まれる、新たな価値創造につながれば、と考えています。

今後も経営戦略とサステナビリティを一体的に推進し、自社の事業を活かして社会と環境の課題に貢献することで、皆様から必要とされる企業になれるよう精進してまいります。
引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

Hot Topics

OTEMOTO for Ramen Lovers

当社が日本各地に住む人たちとともに地域的魅力を発信する「JAPAN MADE PROJECT」。その取り組みの一環である「JAPAN MADE PROJECT KUMAMOTO」において「#おしゃれはおてもとから」をキーワードに、すべてのラーメンに愛を込めたラーメン専用のお箸“OTEMOTO for Ramen Lovers”を、一般社団法人日本ラーメン協会が定めたラーメンの日(7月11日)に発売しました。

本取り組みは、純国産の竹の箸を作り続ける「株式会社ヤマチク」と、長年に渡り合成ゴム製の工業用の部品やタイヤ・靴底などを製造する「株式会社SING」との協同により実現しました。

また、この取り組みをきっかけに、当社は2023年7月より、一般社団法人日本ラーメン協会の賛助会員になりました。



執行役員
萩原 直樹

2023年度は、社内の組織変更に伴い部門間の連携がより円滑になったことで、会社全体のSDGs 支援もより進みました。

今年度の取り組みは、2025年大阪・関西万博の開催に向けて、行政・学校・企業との共創案件が多くありました。

こうした中からBtoBビジネスの芽も出てきました。また、サステナビリティ基準策定やCO₂排出量算定など、これまで出来ていなかった土台作りのような取り組みを進めました。加盟団体「ジャパンサステナブルファッショング・アライアンス」では、中心的な役割を担い、業界全体のサステナビリティ推進に貢献しました。



今後も、SDGs基本方針(3C)に基づき、社内外において、更なるSDGs推進を牽引してまいりたいと思います。



Move forward in our ways to SDGs
by URBAN RESEARCH Co.,Ltd.

株式会社アーバンリサーチは、SDGsに対して
企業風土を活かしたアプローチをするため「3C」というSDGs基本方針を定めました。

中でも頭文字が「C」から始まる次の3つのテーマを中心に、アパレル企業視点で
個性を生かした取り組みを推進します。

右記の基本方針に則り、以下のとおり具体的な目標を定めています。



環境・社会課題の解決に貢献する商品や取り組みを積極的に取り入れ、
ステークホルダーのみなさまに向けて発信していきます。

2030年までに、自社企画製品の衣料品と服飾雑貨の廃棄をゼロにします。

企業活動からなる温室効果ガスの削減に努め、2050年までに
カーボンニュートラルを実現します。

あらゆる業界、企業、行政、非営利団体と連携し、未来につながる価値を創造し続け、
持続可能な環境・社会づくりに貢献します。

3C's Theme

1. Clothing Innovation／衣料資源の有効活用

取り組み内容

- 1-1. サステナブル素材の活用
- 1-2. 生産量の適正化
- 1-3. アップサイクルの推進



Clothing Innovation

2. Clean Earth／地球環境負荷の軽減

取り組み内容

- 2-1. 従業員の環境に対する意識向上
- 2-2. 環境問題に関するお客様との価値共感
- 2-3. 環境にやさしいオフィスづくり



Clean Earth

3. Community Building／コミュニティの形成

取り組み内容

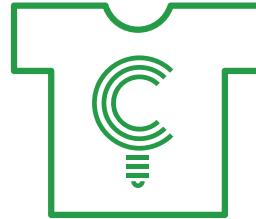
- 3-1. 地域の技術や特産品を活かしたモノづくり
- 3-2. 異業種や自治体・NPOなど多様なビジネスパートナーシップ
- 3-3. 人々が集まり価値を共有できる場所づくり



Community Building

「3C」の各目標における 23年度の活動実績

1



Clothing Innovation

衣料資源の有効活用

Clothing Innovation - 1

commpost

commpost™

ブランドの立上げから 5 年を迎えた 2023 年度は、既存の生地シートを活用した新商品の開発に加え、ブランド初となる廃棄繊維由来のウェアを発売しました。また、異業種との取組による商品開発や BtoB による卸販売などを積極的に行い、当社の廃棄衣料の活用を進めました。次年度は commpost の素材を活用した BtoB の取り組みを積極的に行い、さらなる廃棄衣料の焼却廃棄の低減に繋げていきたいと考えています。

2023 年度の主な活動

- 【23/03/12】SDGs 探究 AWARDS2022(22 年 12 月 ~23 年 2 月エントリー分) 協賛企業からの副賞として、各部門の最優秀賞対象者へ commpost 商品を贈呈(計 7 点)
- 【23/03/10】河淳株式会社と、commpost 生地を活用したホテル備品 2 型(トレー、ハーフティッシュボックス)を共同開発。
- 【23/03/31】新商品「MULTIPURPOSE BOX」発売。
- 【23/04/13】新商品「PC CASE」を発売。
- 【23/04/15~04/16】HININE NOTE 協力の元、commpost DIARY CUSTOM ORDER を開催。
- 【23/05/19】コクヨ株式会社「KOKUYO ME」とのコラボレーションアイテムを 3 型(ベンケース、マルチポーチ、フラットケース)を発売。
- 【23/10/14~24/01/31】おおさか CO2CO2(コツコツ) ポイント + 事業に参加。
- 【23/11/12】古着の回収と再循環のお祭り「循環フェス」に出店。
- 【23/11/24】倉敷紡績株式会社、及び株式会社 藤高を新たなパートナーに迎えて、廃棄繊維由来のウェアを発売。



河津株式会社とのホテル備品2型の共同開発



倉敷紡績株式会社及び株式会社 藤高を新たなパートナーに迎えて廃棄繊維由来のウェアを発売

Clothing Innovation - 2

Green Down Project



**Green Down
Project**

当社は、グリーンダウンプロジェクトの一員として、羽毛製品の回収とリサイクルダウンの商品企画に積極的に取り組み、羽毛循環サイクル社会に貢献しています。2024年1月末時点で、10ブランド141店舗にて回収、内81店舗にて回収ボックスを設置し、継続的にお客様へ回収を呼びかけています。

2023年度 GREEN DOWNを使用した商品の製造数

25品番 (総生産数 約34,000点)

※取扱不可アイテムを除く

2023年度の主な活動

【23/09/13】

Green Down Project 主催
第6回 Exchange Meetingに参加。

【23/11/28】

自社ECサイト「UR ONLINE STORE」にて
ブランド横断のバナー企画にて「GREEN DOWN」
を使用した商品のコンテンツを公開。



Clothing Innovation-3(1)

古着バトン



古着バトン
FURUGI BATON

2022年度より、一般社団法人ミライバトン研究所によって国内の廃棄衣料問題の解決に向け立ち上げられた、古着回収と販売を行う取り組み「古着バトン」に参加しています。2023年度は、取扱い店舗の増加や、関連イベントへの出店に伴い、対象となる古着の回収及び本取り組みの認知拡大に繋げることができました。古着バトンの活動から生まれた利益は、一般財団法人みらいこども財団様へ寄付いたしました。同団体では、全国の児童養護施設にいる子どもたちの心のケア、教育・就業支援、居場所作りなどに活用していただきます。

**Clothing Innovation-3(2)**

古着バトン

2023年度 本取り組みにおける、当社の古着の回収点数

回収枚数 11,991 枚
回収7店舗 + 回収キットによる回収

※取扱不可アイテムを除く

2023年度の主な活動

【23/02/16-02/27】Storeソラマチ「古着バトン URBAN RESEARCH Store STAFF CLOSET」を開催。

【23/04/27-04/30】第2回サステナブルマーケット by URBAN RESEARCH warehouse 三井アウトレットパーク入間店にて開催。

【23/07/07-07/17】アーバン・ファミマ!!にて「古着バトン」期間限定開催。

【23/09/09-09/10】ラゾーナエシカルマーケットに「古着バトン」参加。

【23/11/12】古着の回収と再循環のお祭り「循環フェス」に出店。

回収キット及び古着バトン(古着) 取り扱い店舗

URBAN RESEARCH KYOTO

URBAN RESEARCH warehouse THE OUTLETS HIROSHIMA

URBAN RESEARCH Store 東京スカイツリータウン・ソラマチ店

URBAN RESEARCH Store イオンレイクタウン mori 店

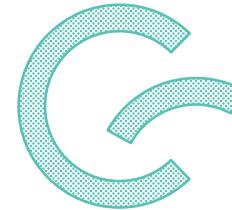
アーバン・ファミマ 虎ノ門ヒルズビジネスパーク店

URBAN RESEARCH Sonny Label ラスカ茅ヶ崎店

THE GOODLAND MARKET 堀江店

URBAN RESEARCH ONLINE STORE (※回収キットのみの取り扱い)



Clothing Innovation -4**衣類回収キャンペーン**

当社は、衣類製品の廃棄低減、及び衣類資源の循環に繋げていく全社的な取り組みを検討していくにあたり、アーバンリサーチグループの一部店舗にて、試験的にお客様の不要な衣類を回収するキャンペーンを実施しました。回収した衣類は、当社で分別の上、リユースやリサイクルの取り組みに活用しました。

**2023年度 本取り組みにおける
当社の古着の回収点数**

**回収点数
回収店舗10店舗 1,052枚**

※キャンペーン期間中(23/03/25-04/09)の回収点数

回収した衣類の活用の内訳

- 再販可900点→「古着バトン」の取り組みを通したリユース等
- 再販不可／再生可38点→主に「compost」の原料として活用
- 寄付 114点

**Clothing Innovation -5****サステナブル素材の活用**

2023年度は、第三者機関との連携によりサステナブル素材及び商品の自社基準を設けました。この自社基準を元に、対象となる商品を集約したECコンテンツの作成や、2024年度以降の各ブランドの商品企画に活用しています。

2023年度の主な活動

【23/05/26】自社ECサイト「UR ONLINE STORE」にて、「3C」コンテンツがスタート。自社のサステナブル基準に該当する商品をコンテンツ内に集約し、一つのページ内で関連商品をご覧いただくことができるようになりました。

Clothing Innovation -6 生産量適正化に向けた取組

2023年度は、生産量適正化に向けて下記項目を実施しました。

- ・シーズン計画(MD計画)を元に、残品率目標に向けた適正な商品量計画の実施
- ・販売時期に向けた早めのアクション(在庫配置、販売強化)
- ・適量発注に向けての生産リードタイムを短縮

引き続き、最新のマーケティングデータやIT技術活用などにより、新たなアプローチを模索するなど、様々な方法で生産量の適正化を図っていきます。
ファッショントロスゼロを目指し、今後も様々な施策を実施する予定です。

Clothing Innovation -7**その他の取り組み**

上記項目以外の「clothing innovation」に関する取り組みについて、
本年度の取り組みは、以下の通りです。

当社のサステナブル基準において、雑貨類に対しての基準は正式に定まっていないため、現状はサステナブル基準外ではあるものの、各ブランド独自の取組として、以下の商品を発売しました。

【23/03/15】DOORS LIVING PRODUCTSより、食用に適さない古米や破碎米などをアップサイクルした「ライスレジン®」を使用したオリジナルの器シリーズ“tsúgi”を発売。

【23/09/29】cosme URBAN RESEARCH「Hand Cream」

【23/11/03】cosme URBAN RESEARCH「Lip Balm」

独自の発酵技術で未利用資源を再生・循環させる社会を構築する研究開発型スタートアップの株式会社ファーメンステーションのオリジナルのアップサイクル原料「オーガニック米もろみ粕エキス」を採用した商品。

「3C」の各目標における 23年度の活動実績

2



Clean Earth

地球環境負荷の軽減

Clean Earth - 1

SDRの活動

SDR(Sustainability Development Research)は社内の各部署、各課をまたぎ、アーバンリサーチなりのSDGsの取り組みを考えるチームとして2018年に発足。2022年2月1日より正式に組織化されました。

SDRでは、従業員の環境に対する意識向上を目的に2023年度は以下の内容に取り組みました。

SDR通信 / SDR通信 Plus

SDGsやSDR(3C)の周知、及び社内スタッフのリテラシー向上を目的とし、社内向けに不定期で配信している社内報「SDR通信」。また、本来なら一般のお客様へはお見せすることのない社内報ですが、皆様に広く知りたい内容に関しては「SDR通信 Plus」として、当社のオウンドメディア「URBAN RESEARCH MEDIA」上で不定期で配信しています。

2023年度の配信数

SDR通信：全14回配信

SDR通信Plus：全3回配信

SDGs勉強会

「3C」の理解浸透、及び社内スタッフのSDGsリテラシー向上を目的とし、オンラインによる勉強会を不定期で実施しています。また、この勉強会の様子はアーカイブ動画として社内スタッフがいつでも視聴できるようにしています。

2023年度の開催数

勉強会：1回

[23/05/18]

SDGs勉強会「サステナだけじゃない！THE GOODLAND MARKETってこんなブランドです。」

SDGs理解度アンケート

SDGs、及び当社「3C」に紐づく取り組みに対する理解度や関心度の向上を目的に、社内スタッフ向けて「SDGs理解度アンケート」を実施しました。

[23/10/03-10/16]

SDGs理解度アンケート開催

Clean Earth - 2**包装資材(ギフト袋)を環境配慮素材へ変更**

当社は、環境問題に対する取り組みの一環で、店舗での簡易包装や、使い捨て備品の削減を進めました。2023年度は、無料で使用しているギフト袋を環境配慮素材に変更することを目的に、各ブランドで使用していた無料のギフト袋を、全社共通デザインへ移行しました。

※各店舗においては、既存のギフト袋の在庫を消化後に順次新しいギフト袋に移行します。

Clean Earth - 3**アーバン・ファミマ!!**

「アーバン・ファミマ !! 虎ノ門ヒルズビジネススター店」では、店内什器や壁紙を始めとする内装材など、内装全体の70%をサステナブルな要素でデザインしています。昨年に引き続き、地域活性化をメインタスクとする JAPAN MADE PROJECT の POP UP SHOP など、年間を通して積極的にイベントを開催し、お客様への発信・価値観の共有の場としてきました。

さらに、アーバン・ファミマ !!だけのオリジナルのイベントとして、イラストレーターなどの個人の作家さんにフォーカスをあてたイベント年間を通して開催してきました。

また、アーバン・ファミマ !! 虎ノ門ヒルズビジネススター店は、2024年1月15日(月)にリニューアルオープンいたしました。店内全体がイベントスペースとしての活用を目的として、ゆったりとした贅沢な空間に生まれ変わり、アーバンリサーチの“面白い”を発信する場となります。

**2023年度の主な活動**

「SHARE THE LOCAL」イベント
3回開催

「JAPAN MADE PROJECT POP UP」
2回開催

Clean Earth - 4**清掃活動**

当社の SDGs 基本方針「3C」の1つである「Clean Earth(地球環境負荷の軽減)」の目標に準じて、当社のオフィスや店舗周辺の清掃活動の実施、及び外部の清掃活動へ参加しました。2023年度の主な活動内容は以下の通りです。

2023年度の主な活動

大阪本社周辺の清掃活動を実施。

TGM堀江店にて、堀江界隈の他ブランドの SHOP スタッフ共同で清掃活動を実施。

NPO団体「特定非営利活動法人 greenbird」に参加し、虎ノ門ヒルズ周辺の清掃活動を実施。

**Clean Earth - 5****分別作業**

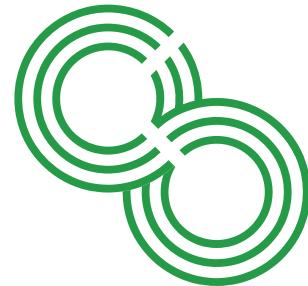
当社は、店舗等から集まってくる廃棄衣料品について、自社の責任として、当社の物流倉庫にて定期的に廃棄衣料品の分別作業を行っています。分別後の廃棄衣料品については、当社の廃棄衣料品のアップサイクルブランド「compost」の原料や、寄付として活用しています。

**Clean Earth - 6****GHG排出量(Scope1~3)の算定**

温室効果ガス排出量の把握、及び削減を目指し、当社では初めて Scope1~3 の算定(21年度分)をいたしました。今後も継続的に「Scope1~3」の算定に取り組むとともに、今回の算定を踏まえ、自社以外を含めたサプライチェーン全体での CO₂ 排出量のさらなる削減を目指します。

Community Building

コミュニティの形成



「3C」の各目標における
23年度の活動実績

3

Community Building - 1

JAPAN MADE PROJECT



“日本の地域はおもしろい”というコンセプトのもと、地域の方々とともに、おもしろさや課題に向き合いながら、未来につながる地域の“すごい”を発信する取り組み「JAPAN MADE PROJECT（ジャパンメイドプロジェクト）」。地域のなかで“おもしろい”活動をしている人たちと共に、取り組みを行っています。

その中で、この一年価値ある新規企画を共創することを目指し、新しい地域との連携と、プロダクトの開発を中心に活動を行いました。

2023年度の主な活動（1/2）

【23/02/10】（大阪）藤田金属・TENT・ミズノ・アーバンリサーチの4社による共同プロジェクト「FRYING PAN JIU FOR URBAN RESEARCH」を発売。

【23/03/10-03/21】（長崎）Arte.M「STAINEDGLASS MORE VARIATION」を開催。

【23/03/14】（東北）「ISHINOMAKI SHIRT」新色（鯖ブルー反転）+ XL サイズ 販売。

【23/03/18-03/21】（石川）HUG mitten WORKS ベーグル販売会を開催。

【23/04/07】（熊本）熊本の天然いぐさを使用したヨガマットをアーバンリサーチ限定で発売。

【23/04/21-05/11】（石川）金工作家 西川 美穂さんのPOP UP SHOPとWORK SHOPを開催。

【23/04/21-05/11】（長崎）「HASAMI STORE」開催。

【23/05/15-05/21】（長崎）「Amacusa botāo」ポップアップ開催。

【23/07/07-08/03】「JAPAN MADE PROJECT PRESENTS - 夏展 -」を開催。

Community Building -1

JAPAN MADE PROJECT

2023年度の主な活動 (2/2)

【23/07/11】(熊本) ヤマチク別注「OTEMOTO for Ramen Lovers」を発売。

【23/09/02】「KNOWLEDGE CAPITAL OPEN FACTORY」に出展。

【23/11/13】(東北) 東北の未利用資源を活用したナチュラルコスメ「KAISO」を発売。

【23/11/10】(長崎) アーバンリサーチ アミュプラザ長崎店のリニューアルオープンを記念した JAPAN MADE PROJECT NAGASAKI のコラボレーションプロダクトを販売。

【23/11/28 - 12/25】(京都) ウサギノネドコ展を開催。

【23/12/01 - 24/01/28】(石川) 「金沢おでん展」を開催。

【23/12/08 - 12/17】(長崎) DATE YUICHI POP UP STORE「バラレ龍ワールド」を開催。

【24/01/19 - 01/28】(京都) たてつなぎ POP UP SHOP を開催。

【24/01/20 - 01/21】(京都) 丹後ちりめん おにぎり巾着作りワークショップを開催。

【24/01/31】アーバン・ファミマ!!にて、トークイベント「ナチュラルコスメ”KAISO”」から知る、日本で起こっている課題と私たちができること」を開催。

Topics

SHARE THE LOCAL

【23/05/20-08/20】

SHARE THE LOCAL 三重

【23/11/18-24/01/28】

SHARE THE LOCAL 埼玉



【熊本】ヤマチク別注「OTEMOTO for Ramen Lovers」を発売



【東北】東北の未利用資源を活用したナチュラルコスメ「KAISO」を発売

Community Building -2

THE GOODLAND MARKET



2023年度は、社内でのブランドポートフォリオの一つとして THE GOODLAND MARKET(以下、TGM) を成長させ、社内外でのプラットフォームストアを目指すことを目標に立てました。お取り組み先様など、TGMに関わっていただいている沢山の方々にカバーしていただき、前に進むことができた1年でした。UR堀江店をTGMにリニューアルして1年が経ち、リアル店舗からの発信がブランドにとって本当に重要だと再認識しました。会社の軸になるにはまだまだですが、この1年を通してブランド力・商品力・販売力・店舗のあり方など、少しですが厚みが出てきていると感じてます。今期は、リーダーとなる人材の成長と併せて、チーム力の成長などが次のステップに繋がるカギになると考えてます。2024年こそが『本格スタート』と題して、当社の新しい価値になりリーディングブランドとなれるよう、熱い思いを持って進んでいきます。

2023年度の主な活動

- 【23/02/11-02/26】EDISTORIAL STORE が手がける「LIVE STOCK MARKET」を開催
- 【23/04/27】THE GOODLAND MARKET の YouTube スタート
- 【23/07/22-07/23】新しい買い物のかたちを実験する “THE THIRD MADE MARKET” 開催
- 【23/11/11-11/12】TGM 主催「LOVE TO SEE YOU」開催

その他、各種 EVENT、及び POP UP SHOP を 24 件実施。

the third made market

1 MIKANSEI

2023.7.22 sat. 12:00-19:00 7.23 sun. 11:00-18:00

at URBAN RESEARCH Press Room

Dear Episode | BUTCHER | HUMFIL.weave&tuft | PLAYFUL MAG | MY FAVORITE THINGS

THE GOODLAND MARKET & KAIWAMONO



kaiwamono

“THE THIRD MADE MARKET”を開催



TGM主催
「LOVE TO SEE YOU」を開催

Community Building -3

TINY GARDEN 夢科



2023年は新たにペットと一緒に宿泊ができるプランやキャビンが立ち並ぶフリーサイトエリアにサウナ施設「SAUNA CABIN HU」が誕生。どちらも TINY GARDEN 夢科で過ごす新たな自然の時間ということで、より充実した複合施設へと成長しました。6月には9回目となる TINY GARDEN FESTIVAL 2023 を開催し、8月にはスタンドカフェ併設の EKAL ビーナスライン夢科湖店がオープンと夢科湖道の駅エリアへの進出も行いました。

TINY GARDEN 夢科だけでなく夢科湖エリアがどんどんと賑わってきているので、更にたくさんの方に夢科へお越しいただけたらと思います。

2023年度の主な活動

【23/03/20】サウナキャビン「HU」オープン

【23/03/29-03/30】キッズキャンプ at TINY GARDEN 夢科 Vol.01

【23/04/16】ペットキャビン宿泊スタート

【23/06/17-06/18】TINY GARDEN FESTIVAL 2023 開催

【23/07/25-07/27】キッズキャンプ at TINY GARDEN 夢科 Vol.02

【23/08/10】EKAL 道の駅ビーナスライン夢科湖店

【23/11/01】インスタグラムフォロワー1万人キャンペーン開催

【23/12/18】ワークステーション棟内のキッチン付きスペースの貸し出しサービススタート

【24/01/20-01/21】キッズキャンプ at TINY GARDEN 夢科 Vol.03



キッズキャンプの開催



EKAL 道の駅ビーナスライン夢科湖店をオープン

Community Building -4

TINY GARDEN
FESTIVAL

URBAN RESEARCH Co.Ltd presents
**TINY GARDEN
FESTIVAL'23**

2023年6月17日(土)・18日(日)2日間、長野県茅野市の八ヶ岳の麓、蓼科湖にある「TINY GARDEN 蓼科」にて当社主催のフェス「TINY GARDEN FESTIVAL 2023」を開催しました。長野県民のソウルフード“みんなのテンホウ”とのフェス期間限定でのコラボ、TINY GARDEN 蓼科でのサウナ体験、FC今治やアウトドアブランドによる子供も大人も楽しめるワークショップなど、より一層楽しんでいただけるコンテンツが増えパワーアップ。

加えて、環境配慮の取り組みとして、一部飲食ブースにて土に還るバガス素材のカトラリーを使用して提供及び分別回収の実施（協力：株式会社折兼様）、給水スポットを設置して会場全体で500mlペットボトル約600本分のゴミの削減にもつなげる事ができました。（協力：株式会社 OSG コーポレーション様）。

2023年度の主な活動

【23/06/17-06/18】「TINY GARDEN FESTIVAL 2023」開催

【23/10/08-10/08】「FC. IMABARI & URBAN RESEARCH Co.,Ltd. presents TINY GARDEN FESTIVAL IMABARI SATOYAMA STADIUM」開催



「TINY GARDEN FESTIVAL 2023」



「TINY GARDEN FESTIVAL IMABARI SATOYAMA STADIUM」

Community Building -5**BOSAI FASHION LABO**

大阪府主催の『万博 × 環境 未来を描こうプロジェクト』と協働し、同プロジェクトの防災班ユースメンバーとともに、防災とファッショನを考える本取り組みにおいて、2023年度は、2021年度に実施したデザインコンペティションの最優秀賞アイデアを商品化し、販売いたしました。また、当社のオウンドメディアへの記事掲載や、防災関連のイベントへの参加など、防災に対する啓蒙活動を行いました。

2023年度の主な活動

【23/02/17】

BOSAI FASION IDEA COMPETITION 最優秀賞アイデアを商品化。同日、当社のオウンドメディア「UR MEDIA」にて、SDR 通信 Plus⑪『次世代のアイディアが照らした「防災 × ファッショhn」。第1回 防災ファッショhn アイディアコンペティション受賞者インタビュー』の記事を掲載。

【23/09/01】

当社のオウンドメディア「UR MEDIA」にて、SDR 通 信 Plus⑫『BOSAI FASHION LABO 防災班メンバーに聞いたもしものときに使えるアーバンリサーチのアイテム 5 選』の記事を掲載。

【23/12/09】

防災班メンバーが、BOSAI FASHION LABO として「第 3 回港区防災マルシェ」に参加。

**Community Building -6****UR テラス**

2023年度は TEAM EXPO 2025 共創パートナーとして登録され、発達障がいの人たちに向けた支援アプリの開発を本格始動する事からはじめました。社内の技術力向上と同時に完成したアプリをオープンすることで社会貢献にも繋がればと考えております。また外部への講師活動を積極的に行い、(一社)ミライバトン研究所の活動ではアパレル業界の障がい者雇用について考える「障がい者雇用インクルージョン交流会」も発足され互いのノウハウを発信吸収し、事業連携の可能性にも恵まれました。

2023年度の主な活動

- TEAM EXPO 2025
共創パートナーとして登録
- 障がい者雇用インクルージョン交流会発足
- (関西)大学生向けの会社説明会開催
- 体調管理シート運用開始
- 支援機関でのセミナー
- 産業医選任、産業医便り、ストレスチェック実施
- 第三者機関による無料の相談窓口開設
- 従業員満足度アンケート実施
- (関東) 会社説明会開催



Community Building - 7

その他の取り組み

上記項目以外の「community building」に関する取り組みについて、
本年度の取り組みは、以下の通りです。

2023年度の主な活動

- 【23/03/01】女性起業家応援プロジェクト「DISCOVER MYSELF」にサポーター企業として参加。
- 【23/03/30】大阪府吹田市千里中央公園再整備事業参加による公園グッズの商品企画・農園をプロデュース。
- 【23/08/12】FC今治との共創 アーバンリサーチマッチデーを開催。
- 【23/09/09 - 09/10】URBAN RESEARCH Co.,Ltd. × とゞ兵「TOYOOKA RESEARCH」を開催。
- 【23/11/28】2025年 日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向けた共創イベント「TEAM EXPO 2025 MEETING」に参加。



その他の活動

3C の各目標達成に直結する取り組みではないですが、
関連する活動についてご報告いたします。

イベント登壇・講演

23年度、以下の外部セミナー等に登壇し、3C に関連する取り組みをご紹介いたしました。

- 【23/09/24】
「第4回 ライフスタイル Week 関西」にて弊社執行役員が登壇。

寄付先への訪問(取材)

当社から発生する廃棄衣料の対策の一つとして、海外への寄付をおこなっています。
2023年度では、寄付先の一つである認定NPO法人ブリッジ エーシア ジャパンへ取材し、寄付先でその服がどうなっているのか、その行方を調査しにマレーシアに行きました。

取材記事は[こちら](#)



その他の活動

シェアクラブ

当社では、シェアクラブ制度を導入しています。

シェアクラブとは、社員の趣味、特技、興味のあることを通じて創る「すごいをシェアする」コミュニティであり、資金や活動場所を提供することで、スタッフのやりたいことを実現していく取り組みです。

LAKE SEEKER'S

今までの活動で出来たコミュニティを通して、チームと関わりのある方々とのイベントや釣行を通じてより濃い繋がりを築いてきました。またメンバーが普段釣りをしている時に欲しいものやあつたらしいものを自分達なりにアップデートし開発することで、普段でもアウトドアでも使える機能的なウェアをリリースしました。

実際に手に取って見て頂けるよう店舗にウェアだけでなく釣具やルアーの展開も進めてきましたが、今後はよりコミュニティの方々にも楽しんでいただけるように、大会やイベントなども進めていく予定です。

2023年度 実績

【4月】THE BATTLE 共同開催

【9月】エグジマフェス 参加

【10月】SEEKER'S CUP 開催

イベント

- TINY GARDEN FESTIVAL 出店
- BASSER ALL STAR CLASSICS 出店



コラボレーション商品

- ELECTRIC × LAKE SEEKERS
- WILD THNGS × LAKE SEEKERS
- ROOT CO. × LAKE SEEKERS



その他の活動

シェアクラブ

ママシェアクラブ

アーバンリサーチの社内で働く“ママ”。オフィス勤務から店頭勤務まで、様々なスタッフが在籍しているママ集団です。そんな働くママたちが抱えるリアルなお悩みや便利なアイデアをそれぞれが持ち寄り、特集や企画を考案することも。

日々暮らしに新たな発見や嬉しい気づきを生み出すべく活動しています。



2023年度の主な活動

【3月】

卒入園にもまだ間に合う！

リアルママが選ぶ“ハレの日”着回し 7スタイル

【6月】

人気スタッフが解決！

ママのお悩み “パート別” 体型カバー 6 コーデ

【10月】

七五三でママたちは何を着る？

デイリーにも着られる、セミフォーマルスタイル

その他の活動

加盟団体・パートナーシップ

皆さまからのご要望や環境・社会の変化を理解し、事業の見直しを継続的に行ってまいります。その一環として、外部団体と連携し、ファッション業界に係る課題解決に向けて取り組んでいます。

▪ UN GLOBAL COMPACT ▪ The Valuable 500

▪ 「TEAM EXPO 2025」プログラム ▪ JAPAN SUSTAINABLE FASHION ALLIANCE

目標達成に向けて

SDGs 基本方針「3C」の達成に向けて、下記の取り組みを実践しています。

目標の細分化と進捗管理

2030 年までの長期目標と 3 ケ年中期計画の立案を行っています。また、それに基づいて年度別の施策を 3C のテーマ毎に決定し、目標の細分化を図っています。成果の進捗状況は、SDR によって管理しています。

定期的な評価と課題の整理

目標達成に向け、定期的に実績に対する評価を行っています。進捗状況によっては、課題の整理を行ったうえで、達成へ向けた施策案について再検討しています。

国連グローバルコンパクトの原則の実践

当社は、国連グローバル・コンパクトの定める4分野(人権、労働、環境、腐敗防止)、10原則の実践に努めてまいります。

人権への取り組み

企業活動の前提として基本的人権の尊重を掲げ、コンプライアンスの一環として全従業員に周知しています。

人権の尊重による差別の禁止

ハラスメントの禁止

個人情報・機密情報の適切な管理

情報システムの適切な使用

従業員が活躍できる環境づくり

従業員が安全かつ衛生的な環境で仕事を行えるようにサポート体制を整えています。



対象の全従業員に向けて
ストレスチェックを実施



会社と社員での協定を結び
適正に労働時間を管理

腐敗防止への取り組み

当社では、公正で倫理的な事業活動を行うため、下記の取り組みを実践しています。

内部監査室及びコンプライアンス委員会の設置

法令順守を確保するための組織体制を構築しています。行動基準として「コンプライアンス・マニュアル」を定め、内部通報窓口として「コンプライアンス・ホットライン」を社内に 2 か所、社外に 1 か所設けています。また、社内弁護士が所属する法務部門から事業部門に法改正情報を提供し、法律相談に応じる体制を整えるとともに、定期的に社員向けのコンプライアンス研修を実施しています。

ガバナンス体制の強化

執行役員制度を導入し、経営の意思決定と業務執行の機能の分離を図り、迅速な経営判断・業務執行を行っています。更に、監査役・内部監査室・会計監査人の 3 者が連携して、業務がルールに基づき適切に執行されているかなど、定期的に監査しています。

20 SDGs 23 report

About us

〈名称〉

株式会社アーバンリサーチ

〈本社住所〉

大阪府大阪市西区京町堀1丁目 6-4
アーバンリサーチビル 10F

〈設立〉

1989年 11月 8日

〈資本金〉

1,000万円

〈事業内容〉

メンズ・レディースウェアなどの
企画・販売・製造及び付随業務

